

長田偶得 （終久） 史論家、漢詩人。慶應二年陸奥國生れ、大正十四年六月二十一日没（八七—九三）。本名權次郎、權と修す。筆名偶得、人、偶得生、偶得迂人、碧谷、長田權、長田碧谷等。

著書 （殉國偉蹟） 『戰事大探偵』（明治二十八年六月十九日春陽堂）、『林子平』（明治二十九年一月十日豪華房「偉人史叢」）、『高山彦九郎』

（明治二十一年一月一日豪華書房「偉人史叢」）、『高野長英先生傳』

（明治二十一年十月二十日巖手・高野長運刊）、（維新） 『豪華傑の情事』（四

版・明治二十七年五月十日大學館）、『名媛集』（合著・井上藤吉編

明治四十一年一月七日文錦堂書店・松陽堂書店）、『偉人自記』（編、

明治四十三年十一月二十日成功雜誌社）、『楠木正成』（宮永佐吉速

記、明治四十四年五月十日經濟新聞社）、『戰國時代の群雄』（明治

四十五年四月二十日村松書店、再版・五月五日豪華房）、『古今の婦

人』（合著・福島四郎編、大正元年九月十六日婦女新聞社）、（文） 『藤田

（大） 正氣歌評釋』（大正四年一月八日大學館）、『偶得詩存』（柯陰

（松陰） 精舍編、昭和八年六月刊）等。

